

# 第2回実証実験中間報告

# 概要

## ■開催期間

令和4年7月30日(土)～令和4年11月30日(水) 約4か月間

## ■場所

舞鶴公園 三の丸広場  
福岡県福岡市中央区城内 1 - 4

## ■実施事業者

### 【代表企業】

所在地 東京都港区浜松町1-14-5  
商号又は名称 株式会社コトブキ  
代表者役職・氏名 代表取締役 深澤 幸郎

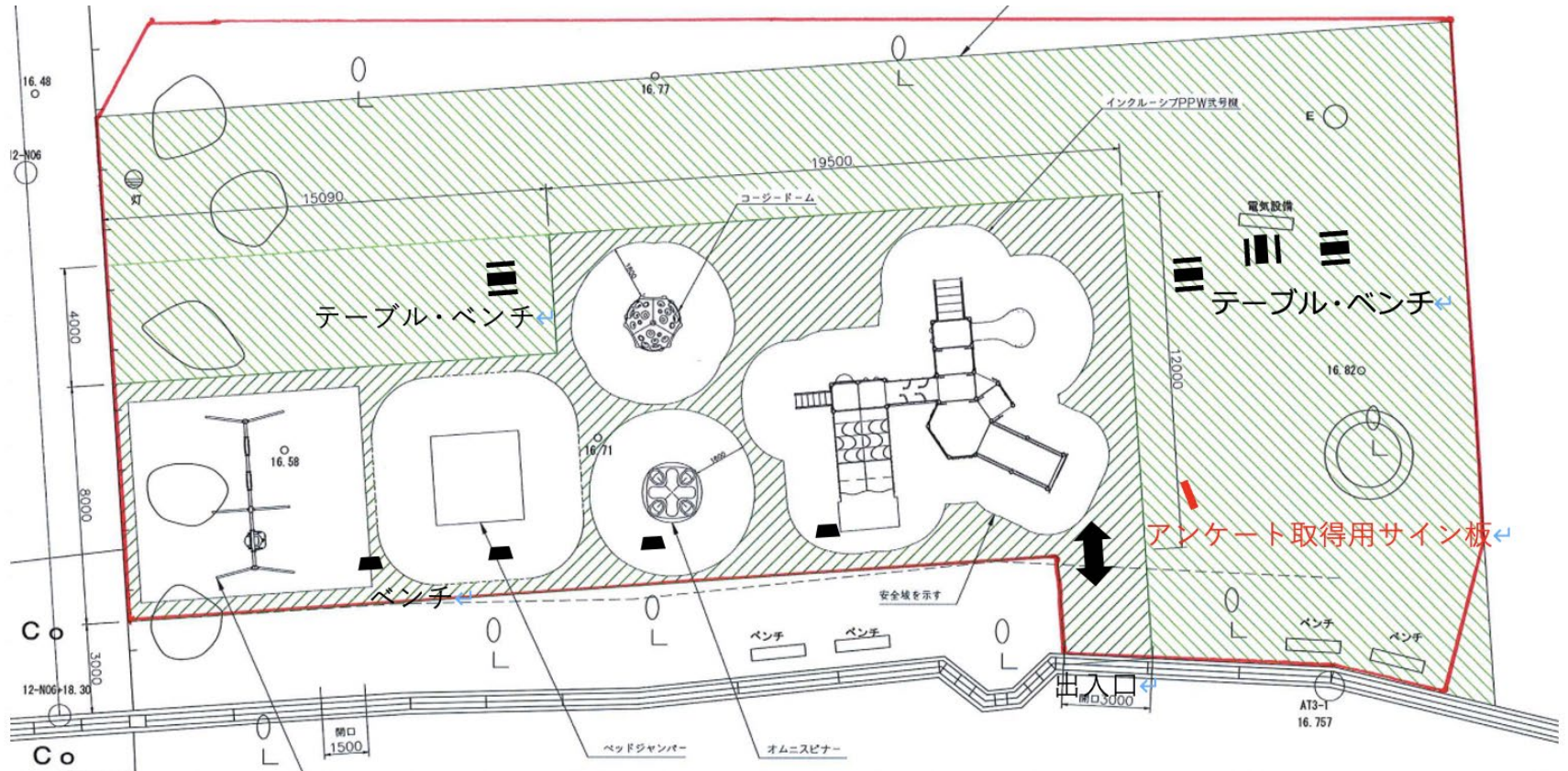
### 【共同企業】

所在地 福岡市博多区古門戸町7丁目3号  
商号又は名称 株式会社アーバンデザインコンサルタント  
代表者役職・氏名 代表取締役 大杉 哲哉



# 概要

## ■会場の概要 (配置図)



全体面積：約850m<sup>2</sup>（仮設柵の範囲）※赤線が実際の柵の範囲

人工芝面積：約370m<sup>2</sup>

※アンケート取得用サイン板の二次元コードより利用者アンケートを取得中

# 設置遊具



## 複合遊具

途中までのスロープに加え、滑り台、斜面遊具、様々なパネル遊びを備える



## ドーム遊具

外側はロッククライミングの様な岩山状の形状。内部はクールダウンシェルターとしても活用できるドーム状の空間

# 設置遊具



## ジャンプ遊具

網状構造体の適度な反発により、一緒に子どもが遊んでも周囲に揺れの影響を及ぼす事が少ない



## 回転遊具

車椅子からの乗り移りや安全性を重視した回転遊具。乗る子同士や、乗る子と回す子のコミュニケーションがとれる

# 設置遊具



## サポート付きブランコ

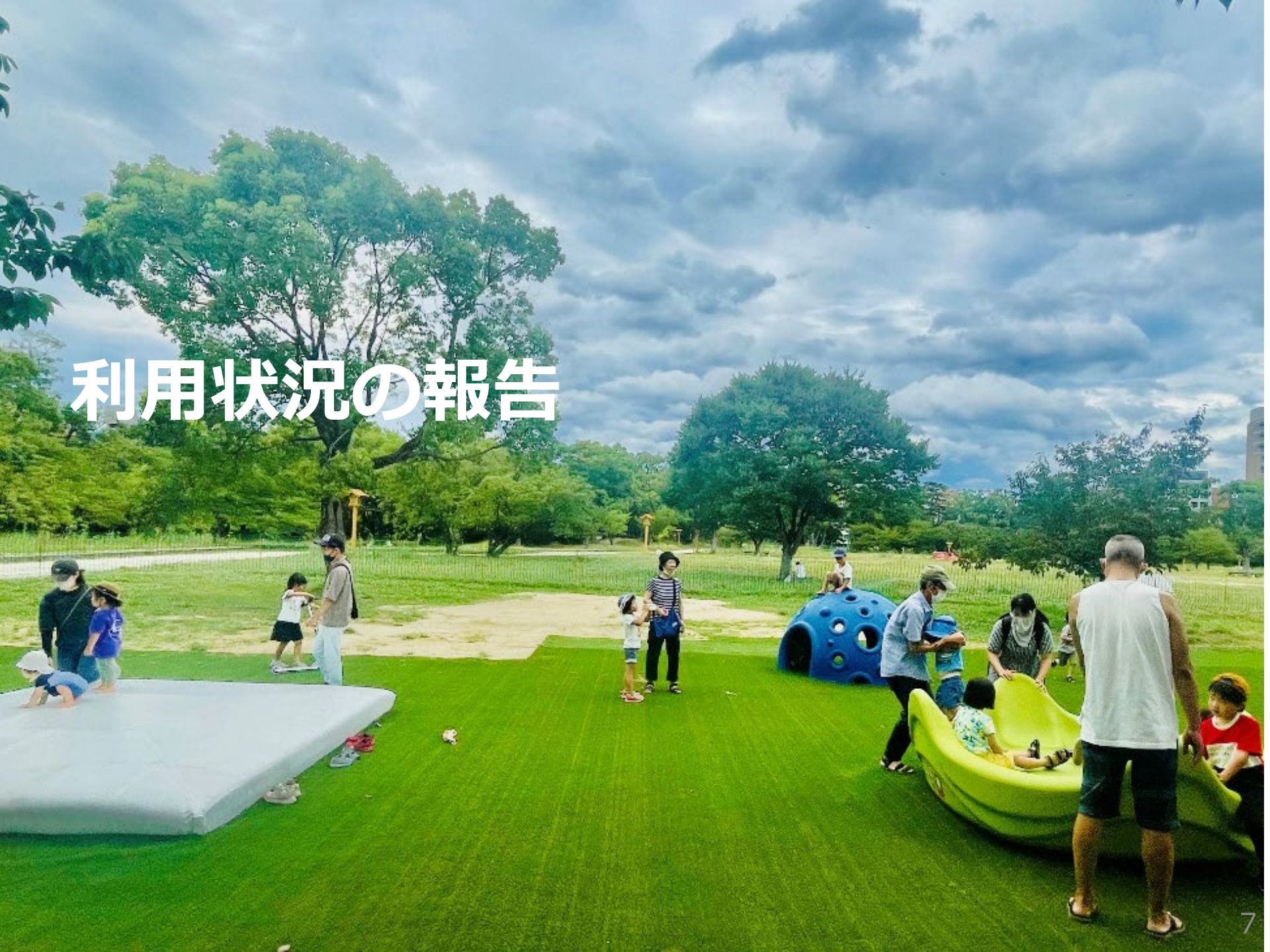
通常の「バンパータイプ」の座板2座に加え、サポート付きのユニバーサルタイプのシートを1座併設



## テーブル・ベンチ

実証実験会場の日影の位置などに合わせて移動できる様、固定されていないテーブル・ベンチのセット  
テーブル4台、ベンチ12脚(2種)

# 利用状況の報告



# 利用状況の報告

## ■ 推計利用者数

平日：約146人／日

休日・祝日：約436人／日

分類		人数
大人		56人
子ども	中高生	1人
	小学生	13人
	未就学児	76人
	(内障がい児)	1人(視覚)

(調査日8/26(金))

分類		人数
大人		184人
子ども	中高生	0人
	小学生	43人
	未就学児	209人
	(内障がい児)	0人

(調査日8/28(日))

- 未就学児から小学校低学年の利用が多い
- 小学生は兄弟姉妹での利用が多くみられた
- 障がい児の利用について、現場では見かけることが少ない  
(サングラスをかけた子どもの来場を確認、アンケートでは数人の回答あり)

# 利用状況の報告

## ■ 期間中をとおして利用の様子

### 遊具や施設について

- サポート付きブランコは1～2歳の子が複数人利用されていた
- ジャンプ遊具は5～6人が同時に遊ぶ姿がよく見られた
- ジャンプ遊具は保護者の声掛けにより土足で遊ぶ子と靴を脱ぐ子に分かれた
- 回転遊具は小さい子と大きい子や、親子など様々な利用者が同時に遊ぶことができていた。回す役割も楽しいようで、乗る役と回す役を交代で行うなど、知らない子同士や保護者間の会話も生まれていた
- ドーム遊具の中に複数の子どもが隠れながらお話をしていた
- 休養施設は多めに設置されていたが、テーブルとベンチは飲食用、遊具近くのベンチは見守り用など、常に多くの利用が見られた
- 人工芝は一般の利用者からは好評であったが、屋外用の車椅子の場合、走行性が低下していた。

# 利用状況の報告

## ■ 期間中をとおして利用の様子

### 遊び方や過ごし方について

- まれに隣の芝生広場から場内にサッカーボールなどが飛来して危険
- ボール遊びをするときは保護者が隣の芝生広場に連れていくため、遊具広場内でのボール遊びは見られなかった
- 保護者のベビーカー利用が非常に多く、ベンチ横に数多くのベビーカーを置かれていた。ベンチ付近にバギーやベビーカーを置くスペースの確保が必要
- 会場の土の部分でしゃがんで砂遊びにはげむ子どもがみられた
- 会場内の雑草が繁茂している場所で虫取りを楽しむ子どもがみられた
- 走り回っている子や縄跳びをしている子もみられた
- 体操をしていた高齢者が会場に入り、人工芝上で腕立て伏せをされていた